











サステナビリティ情報審査協会に登録された審査機関による一般的な審査報告書は、以下のようになっています。アイコンと「4. 結論」の部分をクリックすると、その説明が表示されます。

 <u>サステナビリティ報告に関する独立した第三者による審査報告書</u>		 http://www.j-sus.org サステナビリティ情報審査協会
		平成×年×月×日
〇〇株式会社 		
代表取締役 御中		
		
	株式会社 〇〇サステナビリティ情報審査機関	
	代表取締役	〇〇〇〇 印
		
1. 審査の対象及び目的		
当審査は、〇〇株式会社(以下「会社」という)が作成した「〇〇年度 〇〇株式会社 サステナビリティ報告書」に記載されているサステナビリティ情報に関し、〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日を対象とし、サステナビリティ情報が、一般に公正妥当と認められるサステナビリティ情報の作成基準「〇〇〇〇」「△△△△」に準拠して正確に測定、算出され、かつ、重要な項目が漏れなく表示されているかについて、独立の立場から結論を表明することを目的とする。		
		
2. 経営者及びサステナビリティ報告の審査を行う者の責任		
このサステナビリティ情報の作成責任は〇〇株式会社の経営者にあり、当審査機関の責任は、独立の立場からサステナビリティ情報に対する結論を表明することにある。		
		
3. 実施した審査の概要		
当審査機関は、当該審査の結論表明にあたって合理的な基礎を得るため、「サステナビリティ情報審査実務指針」(平成21年12月 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会)に準拠して審査を行った。		
		
4. 結論		
当審査機関は、サステナビリティ報告書に記載されているサステナビリティ情報が、一般に公正妥当と認められるサステナビリティ情報の作成基準「環境報告書の記載事項等」(平成17年3月 内閣府、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)に準拠し「環境報告ガイドライン2007年版」(平成19年6月 環境省)及び「GRI サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン (Version3.0)」を参考にして、正確に測定、算出され、かつ、「サステナビリティ報告審査・登録マーク付与基準 付則」に記載の重要な項目を漏れなく表示しているものと認める。		
		
5. 特定の利害関係		
会社と当審査機関又は審査人との間には、一般社団法人サステナビリティ情報審査協会の規定に準じて記載すべき利害関係はない。		
*右上掲載のマークは、当〇〇が一般社団法人サステナビリティ情報審査協会によって登録された審査機関であることを示すものである。		
以 上		